

平成24年度 畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成24年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成24年12月6日(木)～7日(金)に第一ホテル両国において開催された。

この検討会には、試験場関係者55名、委託関係者65名ほか、計136名の参集を得て、除草剤54薬剤(284点)、

生育調節剤2薬剤(6点)、展着剤2薬剤(6点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成24年度 畑作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤 注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.AC-263 液 イマザモックスアンモニウム 塩:0.85% [BASF/シャパン]	菜豆	実・雜 (従来どおり)	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌	菜豆出芽直 前～出芽期 (雑草発生始 期～本葉展 開期)	200～ 300mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	寒地	・金時類に限る	・畦間処理での効果、葉害の確認 ・手亡類での効果、葉害の確認
	さとうきび (春植え)	—								(作用性)
2.AH-01 液 グルホシネートPナトリウム塩 :11.5% [Meiji Seika ファルマ, 北興化学工業]	そば	実・雜 (従来どおり)	一年生雜 草、多年生 雑草	茎葉	耕起または 播種7日前 雑草生育期 (草丈30cm 以下)	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	全域		・播種前処理での葉害の確認 ・畦間処理での効果、葉害の確認
	とうもろこし	雜								・効果、葉害の確認
3.AK-01 液 グリホシネートイソプロピルアミン 塩:41% [TAC普及会]	ばれいしょ	雜								・効果、葉害の確認
	そば	実	一年生雜 草	茎葉	耕起7日前、 雑草生育期 (草丈30cm 以下)	250～ 500mL <水量 50～ 100L>	全土壌	東北以南		
	大豆	—								(作用性)
4.AKD-7164 水和 シアンジン:50% [アグロカネショウ]	とうもろこし	—								(作用性)
	大豆	実・雜	一年生雜 草	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・ツクサに対する600 ～800mL/10a処理 での効果、葉害の確認 ・ツクサに対する年 次変動の確認
5.AL-513乳 アラコロール:30% リニロン:12% [日産化学工業]	ばれいしょ	実・雜	一年生イ ネ科雑草	茎葉	ばれいしょ生 育期、イネ科 雑草3～6葉 期	50～75mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・低薬量ではスズメノカタビラ に効果が劣る場合がある	・効果、葉害の年次 変動の確認 (東北以南)
	さとうきび (春植え)	雜								・効果、葉害の確認
6.ALH-0831乳 クルトシム:23% [アリスライフサイエンス]	いんちんこ う (かわらよも ぎ)	雜								・効果、葉害の確認
	せんきゅう	実	一年生雜 草(キク科、 ツクサを除 く)	土壌	萌芽後、雑 草発生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
	大豆	—								(作用性)
8.ANK-553(改) 乳 ペンディメタリン:30% [BASF/シャパン]	さとうきび (春植え)	雜								・効果、葉害の確認
	いんちんこ う (かわらよも ぎ)	雜								・効果、葉害の確認

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
8. ANK-553(改) 乳 つづき	びやくし(よ ろいぐさ)	継								・効果、薬害の確認
	ぼうふう	実	一年生雑 草(ネクサ ツクサを除 く)	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
9. BAH-0805乳 シメナトP:6.7% ペンデイメタリン:23.1%	大豆	—								(作用性)
[BASFシャパン]	ばれいしよ	実・継	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前、雑草発 生前	200~ 400mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 (北海道)
	さとうきび (春植え)	継								・効果、薬害の確認
	さとうきび (夏植え)	継								・効果、薬害の確認
10. BAH-1114 乳 シメナトP:6.7% ペンデイメタリン:6.5% シニロン:11.4% (w/w)	大豆	実・継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	400~ 600mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 (北海道)
[BASFシャパン]	とうもろこし (飼料用、食 用)	実・継	一年生雑 草 (アザミ科、ア ブラナ科、タ デ科を除 く)	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	75~ 120mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南 全域		・出芽直前~播期 処理での効果、薬害の 確認(東北以南;飼 料用、食用) ・播種後出芽前処理 での効果、薬害の確 認(北海道;飼料用、 食用) ・スズメノカタビラに対す る効果の確認(北海 道)
			一年生イネ 科雑草 (スズメノカタ ビラを除く)		とうもろこし 出芽直前~ 2葉期、 イネ科雑草2 葉期まで			北海道		
12. BCH-0817プロア フルフェニカン:8.4% フルフェネソト:33.6%	春播小麦	実	一年生雑 草(スズメノ カタビラ、イネ 科雑草を含む)	茎葉兼 土壌	播種後~小 麦3葉期、イ ネ科雑草1葉 期まで	60~80mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・葉に白斑や黄化、褐変を 生じる場合がある。
[ハイエルクロップサイエ ンス]	ばれいしよ S-ストラコール:83.7%	実・継	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前、 雑草発生前	100~ 130mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南 全域		・広葉雑草(特にアザミ科) には効果が劣るので、イ ネ科雑草優占圃場で使用 すること
[シンシエンタ ジャパン]	べにばな いんげん	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	70~ 130mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・広葉雑草(特にアザミ科) には効果が劣るので、イ ネ科雑草優占圃場で使用 すること
14. DAH-1201プロア フル プロビザト:36%	てんさい (移植)	—								(作用性)
[タウケミカル日本]	てんさい (直播)	—								(作用性)
15. HCW-201プロア フル DCMU:50%	大豆	実・継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前~始期	150~ 200mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・タデ類には効果が劣る ・播種後出芽前処理 での年次変動の確認 (北海道) ・播種後出芽前、雑 草発生始期での効 果、薬害の確認(東 北以南) ・畦間・株間処理で の一年生イネ科雑草 に対する効果の確 認 (北海道) ・薬量100mL/10aで の畦間株間処理に おける効果、薬害の 確認(東北以南) ・雑草発生始期、 100mL/10aでの効 果薬害の確認

A.除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの
使用規程

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規程						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
15.HCW-2017フロアブル つづき	大豆	実・雑	一年生雑草	茎葉兼土壌 (畦間・株間)	大豆生育期 (本葉5葉期以降)、 雑草生育期 (草丈15cm以下)	160100~ 200mL <水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・専用ノズルを使用する ・噴口はできるだけ低くし、本薬にかからないように散布する ・葉齢の進んだイネ科雑草には効果が劣る場合がある ・イネ科雑草が2葉期より生育している場合には、展着剤を加用する(東北以南) ・低薬量では、生育の進んだタデ科雑草に効果が劣る	・アサガオに対する効果の確認 (畦間・株間)
			ホオズキ類							
	さとうきび (株出し)	実・雑	一年生雑草、多年生 広葉雑草	土壌	さとうきび萌芽前、 雑草発生前	160~ 200mL <水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・ムラサキカバハミには効果が劣る場合がある	・さとうきび萌芽前処理での効果、葉害の確認 ・さとうきび萌芽前、雑草発生前での除草効果、葉害の確認
	さとうきび (春植え)	実・雑 (従来どおり)	一年生雑草、多年生 広葉雑草	茎葉兼土壌	さとうきび生育期、 雑草生育期(草丈15cm以下)	100~ 150mL <水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・ムラサキカバハミには効果が劣る場合がある	・さとうきび萌芽前、雑草発生前での効果、葉害の確認
さとうきび生育期、 雑草生育期(草丈15cm以下)										
さとうきび (夏植え)	実・雑 (従来どおり)	一年生雑草、多年生 広葉雑草	茎葉兼土壌	さとうきび生育期、 雑草生育期(草丈15cm以下)	100~ 150mL <水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・ムラサキカバハミには効果が劣る場合がある	・多年生広葉雑草に対する効果について年次変動の確認 ・さとうきび萌芽前、雑草発生前での効果、葉害の確認	
16.HMB-0901フロアブル フエンメチアム:9% メタシロン:27% [ホクサン]	てんさい (直播)	-							(作用性)	
17.HPW-105乳 トリフルリン:33% IPC:11% [保土谷UPL, タウケミカル日本]	大豆	実	一年生雑草(キク科、 カヤツクサ科を除く)	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	300~ 400mL <水量 100L>	全土壌(砂土を除く)	東北以南		
18.KUH-112乳 ピロキサスルホン:0.88% ベンチオカーブ:57.7% リネロン:10.5% [クミアイ化学工業]	大豆	雑								・効果、葉害の確認
19.MAH-0801顆粒 水和 エトフメセト:6.5% フエンメチアム:6.5% メタシロン:28% [マクテシム・アガン・ジャパン]	てんさい (移植)	実・雑 実	一年生雑草	茎葉兼土壌	てんさい定植活着後、 雑草発生前	400~ 600g<水量 50~ 100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・展着剤を加用する ・葉齢の進んだイネ科雑草には効果が劣る ・少水量散布では専用ノズルを使用する	・水量50L処理での効果、葉害の確認 (北海道)
20.MAH-1001フロアブル プロバキサノップ:10% [マクテシム・アガン・ジャパン]	大豆	雑								・効果、葉害の確認 (北海道)
	小豆	-								(作用性)
	菜豆	-								(作用性)
	てんさい	-								(作用性)

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用標準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
21. MAH-1201 顆粒 水和 DCMU:80.0% [マクテシム・アガン・ジヤバン]	さとうきび (株出し)	保留 (寒・継)	一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)	100~ 150g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認
	さとうきび (春植え)	継								・植付覆土後、雑草 発生前での効果、 薬害の確認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期での除 草効果の確認
	さとうきび (夏植え)	継								・植付覆土後、雑草 発生前での効果、 薬害の確認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期での効 果、薬害の確認
22. MBH-118乳 (旧KUH-959) フルチアセトメチル:5% [丸和パ・イオキカル]	飼料用とう もろこし	実・継	イデビ	茎葉	イデビ3~5葉 期、とうもろこし4 葉以上	5~10mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南 全域	・イネ科雑草対象の土壌処 理剤と体系処理する ・処理時の薬に一過性の 白斑を生じる場合がある	・年次変動の確認 (北海道)
					イデビ5~8葉 期、とうもろこし4 葉以上	10mL <水量 100L>				
23. NC-3607プロアル キザロホップエチル:7% [日産化学工業]	そば	継								効果、薬害の確認。
24. NH-007 フロアブル グリホサートイソプロピルアミ ン塩:30.0% ピラフルフェンエチル :0.16% [日本農業]	大豆	実・継 (従来 どおり)	一年生雑 草	茎葉	播種後出芽 前、雑草生育 期(草丈30cm 以下)	400~ 600mL <水量 100L>	全土壌	東北以南	・播種後出芽前処 理での年次変動の確 認(東北以南) ・多年生雑草に対す る効果の確認(東北 以南) ・畦間処理での効 果、薬害の確認(東 北以南)	
	大豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
25. NK-1101 水和 S-トクロール:24.8% プロトリン:26.6% [日本化薬]	大豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
	べにばな いんげん	継								・効果、薬害の確認
26. NM-536P細粒 ジメチナジドP:1.0% リニコロン:1.4% [日産化学工業]	大豆	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	4~6kg	全土壌(砂 土を除く)	東北以南		
27. NP-55乳 ピロキシム:20% [日本曹達]	大豆	実・継 実	一年生イ ネ科雑草 (スズメノカタ ビラ除く)	茎葉	大豆生育 期、イネ科雑 草3~5葉期	150~ 200mL <水量25 ~150L>	全土壌	北海道	・イネ科雑草優占圃場で使 用する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・少量散布(25~50L) の場合は専用ノズルを使 用する	・イネ科雑草8~10葉 期処理での年次変 動の確認
						150~ 200mL <水量100 ~150L>		東北以南		
					大豆生育 期、イネ科雑 草5~8葉期 (草丈30cm 以下)	200mL <水量 100L>		全域		
					大豆生育 期、イネ科雑 草8~10葉 期 (草丈30cm 以下)	250~ 300mL <水量100 ~150L>		東北以南		

A.除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準					使用上の注意	継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌			適用地域
27.NP-55乳 つづき	小豆	実・雜 実	一年生イネ 科雑草(ス ズメノカタビラ を除く)	茎葉	小豆生育 期、 イネ科雑草3 ~5葉期	150~ 200mL <水量100 ~150L>	全土壌	北海道、 東北	・イネ科雑草優占圃場で使 用する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する	・イネ科雑草6~8葉 期処理での効果、葉 害の確認(北海道)
					小豆生育 期、 イネ科雑草6 ~8葉期(草 丈30cm以 下)	200mL <水量 100L>		北海道		
	菜豆	実・雜	一年生イネ 科雑草(ス ズメノカタビラ を除く)	茎葉	菜豆生育 期、 イネ科雑草3 ~5葉期	150~ 200mL <水量 100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使 用する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する	・イネ科雑草6~8葉 期処理での効果、葉 害の確認(東北以 南) ・イネ科雑草6~8葉 期処理での年次変 動の確認(北海道)
そば	実・雜	一年生イネ 科雑草(ス ズメノカタビラ を除く)	茎葉	そば生育 期、イネ科雑 草3~5葉期	150~ 200mL <水量 100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使 用する	・イネ科雑草6~8葉 期処理での年次変 動の確認 ・イネ科雑草6~8葉 期、散布水量 150L/10aでの効 果、葉害の確認	
				そば生育 期、イネ科雑 草6~8葉期 (草丈30cm 以下)	200ml <水量 100L>					
28.NP-65液 トブラミン:3.6% [日本曹達]	どうもろこし (食用)	実 (従来 どおり)	一年生雑 草	茎葉	どうもろこし3 ~5葉期、雑 草3~5葉期	100mL <水量100 ~150L>	全土壌	全域		
29.S-482顆粒水和 フルミキサン:50% [住友化学]	らっかせい いんげん	実	一年生広 葉雑草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	5~10g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・イネ科雑草に有効な剤と の組み合わせで使用	
					播種後出芽 前、雑草発 生前	5~10g <水量 100L>				
30.SAH-0107液 グリホサートイソプロピルアミ ン塩:1% [住商アグロインターナショ ナル]	大豆	実	一年生雑 草	茎葉	耕起または 播種10日 前、 雑草生育期 (草丈30cm 以下)	20mL/m ² (希釈せず そのまま 散布)	全土壌	東北以南		
31.SL-122顆粒水和 フルアジノップP:7% リネロン:30% [石原産業]	大豆	実・雜	一年生雑 草	茎葉兼 土壌 (畦間・ 株間)	大豆生育期 (本薬3葉期 以降)、 雑草生育期 (草丈15cm 以下)	200~ 300g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・専用ノズルを使用する ・噴口はできるだけ低くし、 本薬にかからないように散 布する	・播種後出芽前処理 での効果、葉害の確認 ・畦間・株間処理で の効果、葉害の確認 (北海道)
					大豆生育期 (本薬5葉期 以降)、 雑草生育期 (草丈15cm 以下)			北海道		
32.SL-236(L)乳 フルアジノップP:17.5% [石原産業]	ばれいしよ	実・雜	一年生イネ 科雑草 (スズメノカ タビラを除く)	茎葉	生育期 イネ科雑草3 ~6葉期 (草丈30cm 以下)	75~ 100mL <水量25 ~100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使 用する ・体系処理:広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る ・少量散布(25~50L) の場合は専用ノズルを使 用する	・イネ科雑草6~8葉 期での年次変動の 確認
					てんさい 生育期、 イネ科雑草3 ~6葉期 (草丈30cm 以下)	75~ 100mL <水量25 ~100L>		全域		

A. 除草剤

注1) アンダーラインは大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
33.SL-573 フロアブル 新規化合物A:10.4% [石原産業]	とうもろこし (飼料用)	継								・効果、薬害の確認
	とうもろこし (食用)	継								・効果、薬害の確認
34.SL-1201 フロアブル 新規化合物B (SL-1101):42.1% [石原産業]	大豆	—								(作用性)
	小豆	—								(作用性)
	菜豆	—								(作用性)
	とうもろこし (飼料用)	—								(作用性)
	ばれいしよ	—								(作用性)
35.SVJ-100 乳 プロスルホカルブ:78.4% [シンジエンタジヤハン]	大麦	—								(作用性)
36.アラコロール乳 アラコロール:43% [日産化学]	てんさい (直播)	実	一年生イネ 科雑草	土壌	中耕後、雑 草発生前	300~ 400mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
37.トリフルリン 乳 トリフルリン:44.5% [ダウケミカル日本]	けいがい	継								・効果、薬害の確認
38.フェンメデイファム 乳 フェンメデイファム:14.7% [ホクサン]	てんさい	実	一年生広 葉雑草	茎葉	中耕除草 後、雑草発 生前	500~ 600mL<水 量50~ 80L>	全土壌(砂 土を除く)	寒地 全域	・前処理後発生した雑草 を対象とする。	
39.リネロン 水和 リネロン:50% [米田TKI社]	かんしょ	実・継 実	一年生雑 草	土壌	播苗5日前 以前、雑 草発生前	100~ 200g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・離間処理での効 果、薬害の確認
			一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌 (雑間)	かんしょ生育 期、雑草発 生前(草丈 10cm以下)					

B. 生育調節剤

注1) アンダーラインは大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.AF-1 くん蒸 1-メチルシクロプロペン :3.3% [ローム・アンド・ハースジヤ ハン]	ばれいしよ	—								(試験中)
2.BAW-0907液 クロルメト:65.6% [BASFジヤハン]	春播小麦	実	節間伸長 抑制による 倒伏軽減	茎葉	小麦6葉期 前後(草丈30 ~40cm)	150mL <水量 100L>	全土壌	北海道		
3.NGR-1201 乳 既知有効成分:0.8% [日本農薬]	ばれいしよ	—								(作用性)

C. 展着剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	試験された使用法						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.KF-640 展着剤 ポリオキシエチレンメチルポリ シロキサン:93% [石原産業]	てんさい	—								
2.HSK-001 展着剤 ポリオキシエチレンデシル エーテル:78.0% [ホクサン]	てんさい (移植)	—								